

Provisions Governing Accommodation Agreements

宿泊約款

宿泊約款（日本語）	P.2-7
利用規則（日本語）	P.8
English	P.9-16





宿泊約款

第1条 適用範囲

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとしします。
2. 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

第2条 宿泊契約の申込み

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2-1. 宿泊の申し込みをした者は、当ホテルが宿泊者の氏名、住所、電話番号等を記載した宿泊者名簿の提出を依頼したときは、宿泊契約成立後であっても、直ちに提出するものとしします。
- 2-2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

第3条 宿泊契約の成立等

- 1-1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとしします。
- 1-2. 当ホテルが、インターネットサイトに誤った宿泊料金を提示し、又は電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊契約の申し込みをされ、当ホテルが承諾した場合は当該料金がその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示又はご案内の無い限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げます。
- 1-3. 当ホテルは、宿泊予定日前の任意の日に、宿泊客からいただいた連絡先に予約の確認の電話を差し上げる事があります。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を越えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。
5. 故障部屋が出た場合は、部屋タイプを了承なしに変更する場合があります。

第4条 申込金の支払いを要しないこととする特約

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第4条の2 申込金の支払いを要しないこととする特約

1. 当ホテル（館）は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

第5条 宿泊契約締結の拒否

1. 当ホテルは次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
 - (3) 1. 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
2. 宿泊しようとする者が、当ホテル内で合理的な理由のない苦情、要求を申し立てた等、当ホテル内の平穏な秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、次の1から3に該当すると認められるとき。
 1. 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 2. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 3. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
 - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
 - (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (10) 滋賀県旅館衛生措置の基準等に関する条例第7条の規定に該当するとき。
 - (11) 宿泊の申し込みをした者が、自己の商業目的を秘して申し込みをしたとき。
 - (12) 当ホテルの前受金制度を拒否したとき。

第5条の2 宿泊契約締結の拒否

1. 宿泊しようとする者は、当ホテル(館)に対し、当ホテル(館)が前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

第6条 宿泊客の契約解除権

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客が宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、取消料を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの取消料支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後10時(あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条 当ホテルの契約解除権

1. 当ホテルは次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテル（館）が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 1. 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
 2. 宿泊客が、当ホテル内で合理的な理由のない苦情、要求を申し立てる等、当ホテル内の平穏な秩序を乱していると認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次の1から3に該当すると認められるとき。
 1. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 2. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 3. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
 - (6) 宿泊客が、当ホテル（館）に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (8) 滋賀県旅館衛生措置の基準等に関する条例第7条の規定する場合に該当するとき。
 - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - (10) 宿泊契約成立後に第5条(10)に定めることが判明したとき。
 - (11) 宿泊の申し込みをした者が、第2条1-2に基づく当ホテルの依頼に対し、直ちに応じなかったとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、その解除事由が前項(6)及び(7)によるときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。その余の解除事由によるときは、いまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金も、違約料としてお支払いいただきます。

第7条の2 当ホテルの契約解除権

1. 宿泊客は、当ホテル（館）に対し、当ホテル（館）が前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

第8条 宿泊の登録

1. 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第9条 客室の使用時間

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 15時までは、2,000円
 - (2) 17時までは、4,500円
 - (3) 17時以降は、基本宿泊料の全額
 - (4) ルームキーを紛失した場合、弁償代として5,000円いただきます。

第10条 利用規則の遵守

1. 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条 営業時間

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間の次のとおりとし、その他の設備等の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。
 - (1) フロント・キャッシャー等サービス時間
 1. 門限……なし
 2. フロントサービス……24時間
 - (2) 飲食等（施設）サービス時間
 1. オールデイドイニングリパティール（1F）……6:45～22:00
 2. JFK ラウンジ（2F）……11:00～22:00
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第12条 料金の支払い

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等、これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第13条 当ホテルの責任

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条 契約した客室の提供ができないときの取扱い

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、取消料相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第15条 寄託物等の取扱い

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは10万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 当ホテルは、10万円以上の現金又は時価100万円相当以上の物品はお預かりできません。
- 3-1. 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は、現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、10万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。
- 3-2. 当ホテルは第1項及び第2項に基づく損害賠償責任にあるときであっても、次に定める物品については、その責任を負いません。
 - (1) 稿本、設計書、図案、帳簿その他これらに準ずるもの（磁気テープ、磁気ディスク、CD-ROM、USB、光ディスク等情報機器（コンピューター及びその端末装置等の周辺機器）で直接処理を行える記録媒体に記録されたものを含みます）

第16条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

1. 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め3ヶ月間保管し、その後処分いたします。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準ずるものとします。

第17条 駐車場の責任

1. 宿泊客が当ホテル契約の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、駐車場の故意又は過失によって損害をあたえたときは、その賠償の責めに任じます。

第18条 宿泊客の責任

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。
2. 宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため、万が一宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたと認識したときは、当ホテルにおいて速やかにその旨を当ホテルに申し出なければなりません。

第19条 管轄裁判所と準拠法

1. 当ホテルと宿泊客との間の宿泊契約に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当ホテルの所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所をもって専属管轄裁判所とします。

付則

第 1 条

当ホテルは令和元年 1 0 月 1 日国土交通省の公示するモデル宿泊約款と同一の約款を当ホテルの宿泊約款と定め、同日施行する。

第 2 条

当ホテルは、令和元年 10 月 1 日、宿泊約款第 2 条 1-(2)、第 3 条 1-2、同条 1-3、第 5 条 1-(3)-2、同条 1-(10)、第 7 条 1- 項 (9)、同条同項 (10)、第 15 条 1-2、同条 3-2、第 18 条 1、第 19 条を各新設し、第 3 条 2、第 6 条 2 及び第 7 条 2 の各一部を改正し、同日施行する。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿 泊 料 金	① 基本料金（室料） ② サービス料（①×10%）
	追 加 料 金	③ 飲食料及びその他の利用料金 ④ サービス料（③×10%）
	税 金	イ．消費税

備考 1．基本宿泊料はホテルに掲示する料金表によります。

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

契約解除通知を 受けた日 契約申し込み人数		不 泊	当 日	前 日	7 日 前	1 4 日 前
一 般	14 名まで	100%	80%	20%	30%	20%
	15 ～ 99 名	100%	80%	50%		
団 体	100 名以上	100%	100%	50%	50%	20%



利用規則

ホテルの公共性と安全性を確保するため、当ホテルをご利用のお客様は下記の規則をおまもりいただくことになっております。
この規則で禁じられた事項をおまもりいただけないときは、当ホテルのご利用をお断りさせていただきます。

1. 客室を許可なしに宿泊以外の目的にご使用にならないこと。
2. 廊下および客室内で暖房用、炊事用などの火器をご使用にならないこと。
3. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙をなさらないこと。
4. 高声放歌や喧騒な行為、その他で、他人に嫌悪感を与えたり、迷惑を及ぼしたりすることのないこと。
5. 館内に次のようなものをお持ち込みにならないこと。
 - (イ) 動物、鳥類。
 - (ロ) 著しく悪臭を発するもの。
 - (ハ) 著しく多量な物品。
 - (ニ) 火薬や揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの。
 - (ホ) 適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類。
6. 館内および客室内でとばくおよび風紀をみだすような行為をなさらないこと。
7. 外来客を客室内に招いて、客室内の諸設備、諸物品などの使用をしたりなさらないこと。
8. 客室やロビーを事務所がわりに使用なさらないこと。
9. 館内および客室内の諸設備、物品をその目的以外の用途に充てないこと。
10. 客室内の備品を外へ持ち出したり、ホテル内の他の場所に移動したりなさらないこと。
11. ホテルの建築物や諸設備に異物をとりつけたり、現状を変更するような加工をなさらないこと。
12. ホテルの外観をそこなうような品物を窓にお掛けにならないこと。
13. ホテル内で他のお客様に広告物を配布するような行為をなさらないこと。
14. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさらないこと。
15. ホテル外から飲食物の出前をおとりにならないこと。
16. ご利用金額が30,000円をこえた場合、ホテルより請求がありましたらお支払いをお願い申し上げます。
17. ご予定宿泊日数を変更なさる場合は、フロントに予めご連絡くださること。
18. ご予定宿泊日数を延長なさる場合は、延長分のお勘定を事前にお支払いくださること。
19. お預りの洗濯物、クローゼットでのお預り物やお忘れ物の保管は特にご指定のない限りご出発後3ヶ月までとさせていただきます。2
20. 現金その他の貴重品は必ずフロントにお預け下さい。お預り物以外の物品の紛失につきましては当ホテルは責任を負いかねます。

Provisions Governing Accommodation Agreements





Provisions Governing Accommodation Agreements

Article 1 Scope of Application

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations (meaning laws and regulations, or those based on laws and regulations; the same shall apply hereinafter) or generally established customs.
2. If the Hotel responds to a special agreement to the extent that it does not violate laws, regulations, etc. or customs, that special agreement shall take precedence, regardless of the provisions of the preceding paragraph.

Article 2 Application for Accommodation Contracts

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in Attached Table No.1); and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3 Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for The Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4 Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 4-2 Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

1. Our hotel may request the cooperation of those who wish to stay in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Article 5 Refusal of Accommodation Contracts

1. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases.
However, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
 - (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
 - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and other unavoidable causes; or
 - (7) When a violent demand is made regarding accommodation or a burden exceeding a reasonable range is requested (Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Grounds of Disability (2013 Act)) No. 65 (hereinafter referred to as the "Act on Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities") (excluding cases in which social barriers are requested to be removed pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2).
 - (8) When what is specified in Article 5-6 of the of the Hotel Business Act is repeated, such as making request that would impose an excessive burden on the hotel and may seriously impede the services to other guests.
 - (9) When accommodation is not possible due to natural disasters, facility failures, or other unavoidable reasons.
 - (10) When it falls under the provisions of Article 7 of the Shiga Prefecture Ordinance Regarding standards of Hygiene Measures for Inns in Shiga Prefecture.
 - (11) When a person who applied for accommodation did so while concealing his or her commercial purpose.
 - (12) When the guest refuses the advance payment.

Article 5-2 Refusal of Accommodation Contracts

1. If the hotel does not agree to conclude an accommodation contract based on the preceding article, the person seeking accommodation may request an explanation of the reason.

Article 6 Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before The payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in attached Table. No2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 10:00p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7 Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases.
However, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:
 - (1) 1. When the Guest is deemed to be at risk of committing an act that violates the provisions of laws and regulations, public order, or good morals regarding accommodation, or when it is recognized that the Guest has committed such act.
 2. When a guest is found to be disturbing the peace and order within the hotel, such as by making complaints or demands without reasonable grounds within the hotel.

- (2) When the guest is deemed to fall under any of the following 1 to 3.
 1. Organized crime groups, organized crime members, associate members of organized crime groups, persons associated with organized crime groups, and other anti-social forces.
 2. When an organized crime group or organized crime group member is a corporation or other organization that controls business activities.
 3. Corporations whose officers are members of organized crime groups.
- (3) When a guest engages in behavior that causes significant inconvenience to other guests.
- (4) When the guest is a patient of a specified infectious disease.
- (5) When violent demands are made regarding accommodation or a burden that exceeds a reasonable range is demanded. (Except when the guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities.);
- (6) When what is specified in Article 5-6 of the of the Hotel Business Act is repeated, such as making request that would impose an excessive burden on the hotel and may seriously impede the services to other guests.
- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and other causes of force majeure;
- (8) When the provisions of Shiga prefectural Ordinance No.7 is applicable;
- (9) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing fires).
- (10) When the conditions specified in Article 5 are discovered after the accommodation contract is established.
- (11) When the person who applied for accommodation does not immediately respond to the hotel's request based on Article 2, 1-2.
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he not received.

Article 7-2 Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

1. If the hotel cancels the accommodation contract based on the preceding article, the guest may request an explanation.

Article 8 Registration

1. The Guest shall register the following particulars at the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, address and phone number of the Guest(s);
 - (2) For non-residential foreigner: nationality, passport number;
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Article 9 Occupancy Hours of Guest Rooms

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00p.m. to 11:00a.m. the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be incurred as follows:
 - (1) Until 3:00p.m. : 2,000Yen
 - (2) Until 5:00p.m. : 4,500Yen
 - (3) After 5:00p.m. : 100% of the room charge.
 - (4) Guest will be charged 5,000 yen as compensation when they losses their room key.

Article 10 Observance of Use Regulations

1. The Guest shall follow the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11 Business Hours

1. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.
 - (1) Service hours of front desk, cashier' desk, etc.
Front service 24hours
 - (2) Service hours (at facilities) of dining, drinking, etc.
 - A. All day dinning Liberty (1F)
From 6:45 a.m. to 10:00 p.m.
 - B. JFK lounge (2F)
From 11:00 a.m. to 10:00 p.m.
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12 Payment of Accommodation Charges

1. The breakdown and method of calculation of the accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is listed in attached Table No.1.
2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the arrival of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities which have been provided for him by the Hotel and are at his disposal.

Article 13 Liabilities of the Hotel

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

Article 14 Handling When Unable to provide Contracted Rooms

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to the causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Article 15 Handing of Deposited Articles

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 100,000yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, except in case of the damage caused through intention or gross negligence on the part of the Hotel, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 100,000yen.
3. Even if the Hotel is liable for damages pursuant to Paragraphs 1 and 2, it shall not be liable for the items specified below.
Manuscripts, plans, designs, ledgers, and other similar items (records that can be directly processed by information devices (computers and peripheral devices such as terminal devices) such as magnetic tapes, magnetic disks, CD ROMs, USBs, and optical disks, including those recorded on media)

Article 16 Custody of Baggage and Belongings of the Guest

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of the check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 3 months including the day it is found, and after this period, The hotel scraps them.
3. The Hotel liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17 Liability in Regard to Parking

1. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the contract parking lot of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the guest for the damage caused through intention or negligence on the contract Parking lot in regard to the management of the contract parking lot.

Article 18 Liability of the Guest Article

1. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intentional or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Calculation method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		C o n t e n t s
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	① Basic Accommodation Charges (Room Charge) ② Service Charges (①×10%)
	Extra Charges	③ Meals & Drinks and Other Expenses ④ Service Charges (③×10%)
	Taxes	a) Consumption Tax

Remarks 1. The basic accommodation fee is based on the price list posted at the hotel.

Attached Table No.2

Cancellation Charges for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Contracted Number of Guests Date when Cancellation of Contract is Notified	Individual	Group	
	1 to 14	15 to 99	100 and more
No Show	100%	100%	100%
Accommodation Day	80%	80%	100%
1 Day Prior to Accommodation Day	20%	20%	80%
9 Day Prior to Accommodation Day		10%	20%
20 Days Prior to Accommodation Day			10%

Remarks

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.



Rules on Accommodation Utilization

To maintain the generality and reliability of the hotel, the guests of this hotel are requested to observe the following rules. In case one of these rules is violated by a certain guest, their stay will be discontinued regardless of the previous reservation.

1. Not to use the guest room for purpose other than lodging.
2. Not to use any burner for heating or cooking in the room or the hall-way.
3. Not to smoke in bed or other places where causes of fire are apt to occur.
4. Not to make a great noise or make yourself a nuisance to others.
5. Not to bring the followings in this hotel.
 - (A) Animals, birds, etc.
 - (B) Things with loathsome smell.
 - (C) Items of large quantity.
 - (D) Explosive items such as gun powder, gasoline, etc.
 - (E) Guns and swords of illegal possession.
6. Not to gamble or take any behavior against public morals in this hotel.
7. Not to bring visitors in the room and let them use the furnitures and fixtures.
8. Not to use the room or lobby as business offices.
9. Not to use the furnitures and fixtures in this hotel other than the original purpose.
10. Not to take out any fixtures in the room or move those to other place in this hotel.
11. Not to fix any other items to the room or to the furnitures or work upon the present state of the furnitures and fixtures.
12. Not to hang up any items at the windows which will spoil the outside view of this hotel.
13. Not to hand out any bills to the other guests in this hotel.
14. Not to leave your belongings in the hall-way or the lobby.
15. Not to order meals and drinks from outside.
16. In case the total amount of your bill exceeds ¥30,000, the settlement will be made upon our guest.
17. If you wish to change the period of your stay, you are to notify the front desk.
18. If you wish to extend your stay, you are requested to the price for the extension.
19. The management of your laundries or other belongings stored in the cloakroom and other items left behind without inquiry will be for the period of three months after your departure.
20. The management is not liable for any loss of money or other valuables unless they are deposited in the safe of the Front Office.